

令和6年度 履修証明社会人コース 募集要項

【出願期間】令和6年3月4日(月)～3月19日(火)必着



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

東北福祉大学 履修証明社会人コース 募集要項

このコースは、学校教育法第 105 条に基づく履修証明制度に則り、東北福祉大学が独自に設置する社会人向けのコースで、幅広い学習ニーズに応え、体系的で専門的な学習課程を広く一般の皆様提供するものです。

従来の公開講座や社会人聴講生に比べて、より専門的・体系的に 1 年間かけて学習できるのが特徴で、海外ではサーティフィケートと称される制度の日本版といえるものです。

本年度は、「福祉用具生活支援」、「異文化コミュニケーション」、「自分再発見」の 3 コースを開講いたします。コースごとに履修科目（必修科目、選択科目）と最小履修単位が設定されており、所定の科目を履修し、合格すると、履修証明書が交付されます。

また、「福祉用具生活支援」コースでは、「福祉用具専門相談員」の指定講習修了者として福祉用具の貸与・販売をする事業所等で、学んだことを活かすことができます。

多くの皆様のお申し込みをお待ちしております。

1. 募集人数及び在籍期間

- (1) 各コース 20 名
- (2) 在籍期間は 1 年とし、2 年まで延長を認める。

2. 入学資格

社会人で高等学校を卒業した者、または同程度の学力を有する者
※学校教育法施行規則第 150 条の規定による

3. 出願期間

令和 6 年 3 月 4 日（月）～令和 6 年 3 月 19 日（火） ※必着

4. 出願書類

- (1) 入学願書（本学所定用紙）
- (2) 勤務先を有する者は、その所属長の承諾書（任意）

5. 出願方法

- (1) 出願書類をご用意のうえ郵送、または生涯学習ボランティア支援課までご持参ください。
- (2) 申し込み先

東北福祉大学 地域創生推進センター
生涯学習ボランティア支援課 生涯学習担当

〒981-8522
仙台市青葉区国見 1 - 8 - 1
TEL 022(766)8834

平日 9 : 00～17 : 00（土日祝日を除く）

※3/4 は本学入学試験のため入構規制 16 : 30～17 : 00 窓口対応可

6. 入学の許可

書類審査の上、判定します。

7. 入学納付金

入学金は下記の通りで、消費税を含む金額です。

入学選考料	5,000 円 (※入学後にまとめて納付となります。)
入学金	10,000 円
授業料	50,000 円

なお、福祉用具生活支援コースで福祉用具専門相談員の資格を希望する場合は、福祉用具活用実習（資格取得登録料含む）の実習費として別途 2 万円が必要となります（入学後に手続きすることになります）。

8. 入学手続き

入学を許可された者は、4 月 5 日を日処に通知をお送りいたします。4 月授業開始前にオリエンテーションを行い、入学許可証、学生証ほか書類を配布いたします。その後、指定期日内に入学納付金（入学選考料含む）を納付し、手続きを完了となります。

9. 留意事項・その他

- (1) 指定期日内に入学手続きを完了しない場合は、辞退したものと見なし入学許可を取り消します。
- (2) 一旦納入した納付金は、原則として返還しません。
- (3) 受講態度が授業に著しい支障をきたすとみなされる場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 授業は、ノートパソコン（Windows10、Microsoft office）の使用を前提に実施されます。あらかじめ、ご自身でご用意ください。
大学からの連絡はメールで行いますので、メールアドレスは必須です。
- (5) 授業は、国見キャンパス、ステーションキャンパスで実施されます。
- (6) 半期の科目は、通常、週 1 回で 15 週にわたって授業が実施されます。
- (7) 通学は、公共交通機関をご利用ください。
- (8) パソコンやインターネット接続環境、通信費はご負担ください。
- (9) 詳しくは、ウェブサイト www.tfu.ac.jp/llc をご覧ください。

〈問合せ先〉

**東北福祉大学 地域創生推進センター
生涯学習ボランティア支援課**

TEL : 022(766)8834 FAX : 022(766)8835

Eメール : life@tfu.ac.jp

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1 (国見キャンパス)

<https://www.tfu.ac.jp/llc>

福祉用具生活支援コース

このコースは、さまざまな福祉用具の利用についての専門的知識と技術を習得すると共に、高齢者福祉・障害者福祉について基礎知識を学ぶことを目的としています。また、希望者は、「福祉用具専門相談員」の資格を取得することも出来ます。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開講学期	履修方法
介護論	2	前期	3科目 6単位必修
福祉用具と生活支援	2	前期	
高齢者の保健福祉とリハビリテーション	2	前期集中Ⅰ	
障害者福祉	2	前期	この中から 3科目6単位以上 選択
高齢者福祉	2	前期	
公衆衛生学	2	後期	
解剖生理学	2	後期	
リハビリテーション論	2	後期	
病弱者の心理・生理・病理	2	後期	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	後期	
老年心理学Ⅰ	2	前期	
老年心理学Ⅱ	2	後期	
福祉用具活用実習	1	前期集中Ⅱ	選択※

○前期＝4月8日～7月26日（週1回、計15回）、後期＝9月27日～1月31日（週1回、計15回）

通年＝4月8日～7月26日＋9月27日～1月31日（週1回、計30回）

前期集中＝7月29日～7月31日、8月1日～8月3日（予定）に実施される連続3日間の集中講義授業は原則として平日の日中に行います。一般の学生と一緒に受講することになります。

※「福祉用具専門相談員」の資格を希望する場合、「福祉用具活用実習」は必修となります。「福祉用具専門相談員」の資格は、必修科目（3科目の内「介護論」を除く2科目4単位と福祉用具活用実習1単位）すべてを前期内に履修し、合格した場合にのみ認定されます。

「福祉用具専門相談員」とは

福祉用具専門相談員とは、福祉用具貸与事務所や福祉用具販売事務所で、居宅要介護者や居宅要支援者が福祉用具を選定するに当たり、福祉用具に関する専門的知識に基づく助言を行うものをいいます。この「福祉用具生活支援コース」は、福祉用具専門相談員の資格を取得できる指定の講習となっています。

なお、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士等の有資格者は、福祉用具専門相談員の資格がなくとも、福祉用具専門相談員として指定福祉用具貸与事業所等で勤務が可能です。

異文化コミュニケーションコース

グローバル化がますます進む現在、その波によって世界の様々な情報・人・文化の往来と伝播が起りましたが、それに伴い格差社会、環境破壊、食糧難、一律西洋化など負の面も、今大きな課題として世界を覆っています。グローバル化の波に乗ってくるのは人・もの・情報ばかりではありません。周知のように、未知のウイルスや細菌、害虫などもこの張り巡らされた交通網に乗ってやってきます。水際の対策が十分に必要であると同時に、一国だけでこれらの問題を解決することは困難で、垣根を越えた国際協調が欠かせません。この不透明な激動の時代にあって、情報の真偽を見極め、変化に対応し、試行錯誤を通して、協調しながら課題を解決していく人材が求められています。このコースでは、国際理解や協調、アイデンティティーにかかわる問題を学修するとともに、対話を下支えするための日本語と同時に英語を中心とした実践的な外国語のコミュニケーション力を高めることを目指します。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開設期間	履修方法
グローバルコミュニケーション I	2	前期・後期	必修
現代社会と政治	2	後期	この中から 3科目 6単位以上 選択
政治学原論（国際政治を含む） I	2	前期	
政治学原論（国際政治を含む） II	2	後期	
文化人類学	2	前期	
日本文化史	4	前期・後期	
国際協力論	2	後期	
特講（安全保障論）	2	後期	
情報と社会（知的財産を含む）	2	後期	
ソーシャルメディア論	2	後期	
アジア共同体に向けて	2	後期	
異文化理解 I	2	後期	
異文化理解 II	2	前期	
グローバルコミュニケーション II	2	前期・後期	
英語 I ※	2	前期	この中から 2科目 4単位以上 選択
英語 II ※	2	後期	
英語 III	2	前期・後期	
実用英語 C	1	前期	
実用英語 D	1	後期	
観光英語	2	前期	
中国語 I ※	2	前期	
中国語 II ※	2	後期	
中国語 III	2	前期・後期	
ハンゲル講座 I ※	2	前期	
ハンゲル講座 II ※	2	後期	
ハンゲル講座 III	2	前期・後期	
実用ハンゲル講座 A	2	前期	
ドイツ語 I ※	2	前期	
ドイツ語 II ※	2	後期	
ドイツ語 III	2	前期・後期	
実用ドイツ語 A	2	前期	

○前期=4月～7月（週1回、計15回）、後期=9月～1月（週1回、計15回）

通年=4月～7月+9月～1月（週1回、計30回）

授業は原則として平日の日中に行い、一般の学生と一緒に受講します。集中講義は3日間連続で行われます。

○外国語 I / II は週2回授業が行われますのでご注意ください。中国語など初習外国語については I から履修を行うようにしてください。

○履修科目の授業内容はシラバスをご参照ください。履修科目構成は変更される場合があります。

自分再発見コース

このコースのテーマは「自分を見つめ、伝え、表し、再発見する」です。他人とのコミュニケーションがうまくとれないことで悩んでいる人たちが多い現代。まず、自分自身について様々な角度から考えられるようになってもらいたいのです。自分が知っていると思こんでいる自分、自分だからこそ知らない自分があるはずだからです。本コースで自分を見つめ直す心理学的な視点を学び、さらに手足を使って「表現活動」を行います。「表現」を極めていくというプロセスがどんなに自分自身や他者との対話を必要とするかに気づいてもらいたいからです。このコースで自分という存在の価値や可能性を再発見できたという喜びを感じてみませんか。

このコースは次の2つの目標を掲げています。1つ目は、「自分史」を作成することです。「ライフスパン（生から死）の中の自分」そして「他人との関係づくりの中の自分」という心理学などの視点を学び直し、自分の心や身体を見つめ直します。2つ目は、手足をつかって「表現活動」を行うことです。自分の心身について手足を躍動させて創造的に表現する技能を学びながら、自分や他者とのコミュニケーション能力を高める場を体験します。

履修単位：12単位以上

科目名	単位数	開設期間	履修方法	
発達心理学	2	前期	必修	
社会貢献論	2	前期	1科目	
地域共創福祉論	2	後期	2単位以上	
成人保健	2	前期	選択	
人間関係論	2	前期	3科目	
カウンセリング	2	前期	6単位以上	
健康心理カウンセリング概論	2	前期	選択	
社会・集団・家族心理学（家族心理学）	2	前期		
臨床心理学概論	2	前期・後期		
ことばと表現	2	前期・後期	1科目	
身体表現Ⅱ	1	前期	2単位以上	
			選択	

○前期＝4月～7月（週1回、計15回）、後期＝9月～1月（週1回、計15回）

通年＝4月～7月＋9月～1月（週1回、計30回）

授業は原則として平日の日中に行います。一般の学生と一緒に受講することになります。

国見キャンパス

仙台市青葉区国見 1-8-1

ステーションキャンパス

仙台市青葉区国見 1-19-1



< 東北福祉大学国見キャンパス >

■JR 利用

JR 仙山線「東北福祉大前」駅下車 徒歩 5 分

■バス利用

JR 仙台駅前（西口バスプール 9 番のりば）

北山・子平町循環または子平町・北山循環乗車

「東北福祉大前」下車 徒歩 0 分

地下鉄南北線・北仙台駅から

「東北福祉大前」下車 徒歩 0 分

地下鉄東西線・川内駅（2 番のりば）から

「東北福祉大前」下車 徒歩 0 分

< 東北福祉大学ステーションキャンパス >

■JR 利用

JR 仙山線「東北福祉大前駅」下車 徒歩 0 分

■バス利用

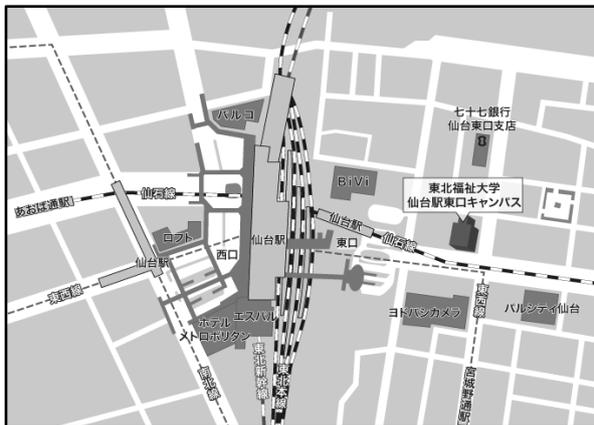
JR 仙台駅前（西口バスプール 13 番のりば）

貝ヶ森方面行き乗車「JR 東北福祉大前駅」で下車

徒歩 0 分

仙台駅東口キャンパス

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26



< 仙台駅東口キャンパス >

仙台駅東西地下自由通路 出入口 1 から徒歩 0 分

地下鉄東西線「宮城野通駅」北 1 出口から徒歩約 3 分

ご利用の際は、公共交通機関でお越しください。

※本学に駐車場・駐輪場のご用意はありません。

東北福祉大学 地域創生推進センター 生涯学習ボランティア支援課

TEL : 022(766)8834 FAX : 022(766)8835

Eメール : life@tfu.ac.jp

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1(国見キャンパス)

<https://www.tfu.ac.jp/l1c>